

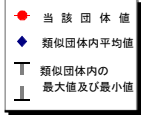
(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

平成22年度

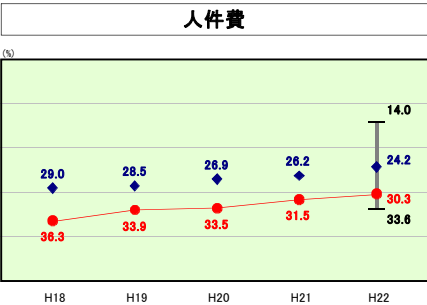
北海道芦別市

経常収支比率の分析

| | | | | |
|--------|------------------------|----------------|----------|-------------------------|
| 人口 | 16,859 人 | (H23. 3. 31現在) | 実質赤字比率 | - % |
| 面積 | 865.02 km ² | | 連結実質赤字比率 | - % |
| 歳入総額 | 11,575,111 千円 | | 実質公債費比率 | 12.1 % |
| 歳出総額 | 11,358,759 千円 | | 将来負担比率 | 160.7 % |
| 実質収支 | 166,812 千円 | | 市町村類型 | H18 I-1 H19 I-1 H20 I-1 |
| 標準財政規模 | 6,921,781 千円 | | (年度毎) | H21 I-1 H22 I-1 |
| 地方債現在高 | 9,896,464 千円 | | | |

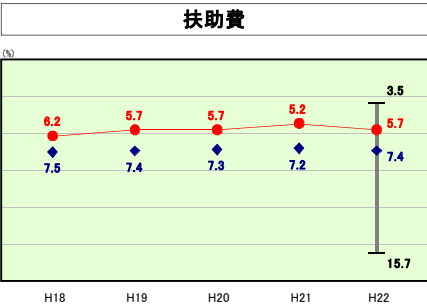


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。



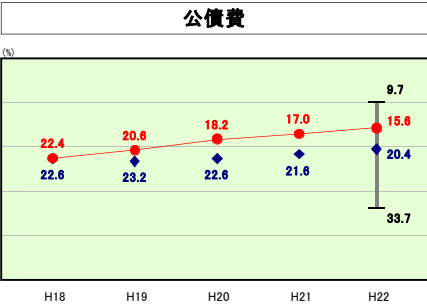
類似団体内順位 122/128

人件費の分析欄
類似団体と比較して職員数が多いため、人件費に係る経常収支比率が類似団体平均を上回っている。今後も各種手当を含む職員給与及び定員管理の適正化による人件費の抑制に努める。



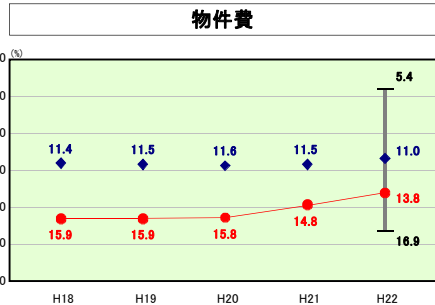
類似団体内順位 28/128

扶助費の分析欄
扶助費に係る経常収支比率が類似団体平均を下回っているが、長引く景気低迷による生活保護者数の増加や高齢化による社会保障関連経費の増加に伴い、比率の悪化が懸念されている。今後も資格審査等の適正化や各種サービスの適正な実施に努める。



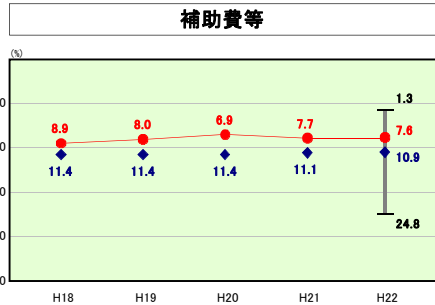
類似団体内順位 22/128

公債費の分析欄
過去からの起債の抑制により比率は年々改善し、公債費に係る経常収支比率は類似団体平均を下回っているが、過疎対策事業債の借入等により、今後は横ばいに推移していくものと予想される。今後とも緊急度や住民ニーズを的確に把握した事業の選択により、起債の抑制に努める。



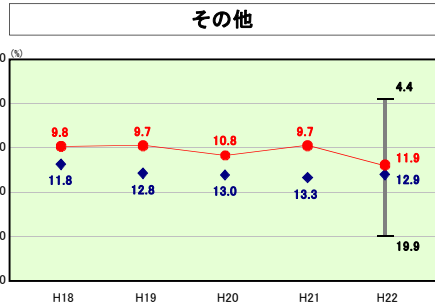
類似団体内順位 112/128

物件費の分析欄
業務の民間委託の推進により物件費に係る経常収支比率が類似団体平均を上回っている。今後も事務事業の徹底した見直しによる物件費の削減に努める。



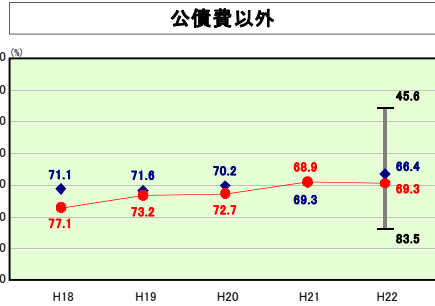
類似団体内順位 32/128

補助費等の分析欄
補助費等に係る経常収支比率は類似団体平均を下回っている。今後も適切な事業への補助金事業等を実施していく。



類似団体内順位 45/128

その他の分析欄
その他に係る経常収支比率は類似団体平均を下回っているが、近年はわずかながら悪化傾向にある。今後は公営企業会計の経営状態の悪化に伴い、赤字補てんに対する繰出金が増加していくことが懸念されるため、各企業会計及び特別会計においては各種料金等の適正化を検討し、健全な財政基盤を確立することにより、普通会計の負担額を減らしていくよう努める。



類似団体内順位 83/128

公債費以外の分析欄
決算額から公債費を差引いた額に係る経常収支比率は類似団体平均を上回っており、これの主な原因は人件費と物件費が類似団体と比べ多額になっているためである。今後は、職員数の適正化を始め、事業の効率化等を推進し、健全な財政となるよう努める。